

# STEELGUARD™ 751

## スチールガード 751

### 説明

1液性 鉄骨構造の防火用 薄膜溶剤系熱膨張塗料

### 特長

- セルロース系の火災から最大120分の保護を提供
- 現地外または現地内のアプリケーション
- 1回塗りで最大DFT1500 µm (60.0 mils)
- C1~C4の内部および外部環境 (ISO 12944)に適しています。乾燥内部 (C1) 環境の場合はトップコートは不要
- 上塗り塗装なしで耐候性が最大12ヶ月までINFORMATION SHEET 1222 に従って塗布されており、流水・水溜まりがなく、高湿度または浸漬状態である。
- EN 13381-8、BS 476-20/21、AS 1530.4 で試験、評価されている。
- CEマーク付き製品、ETA 20/1312
- すべての耐久性分類について、EAD 350402-00-1106に評価されています。

### 色相及び光沢

- ホワイト
- マット (ツヤ消し)

### 20°C (68°F) での基礎データ

製品データ	
構成	1液性
密度	1.35 kg/l (11.27 lb/US gal)
固形分 (容量)	75 ± 3%
VOC (供給時)	最大 257.0 g/kg (Directive 1999/13/EC, SED) UK PG 6/23(92) Appendix 3: 最大 330.0 g/l (約 2.8 lb/US gal) 2004/42/IIA(i)(500) 370 g/l): EUR Directive
推奨膜厚	200 - 1500 µm (8.0 - 60.0 mils) / 1コート
理論塗布量	[Select correct formula] [Select correct formula] [Select correct formula]
指触乾燥	30 分
塗装インターバル	最短: 6 時間 最長: 無制限
貯蔵安定期間	18 ヶ月 (乾燥した冷暗所にて保管した場合)

#### 注意点:

- 追加データ参照 - 塗布量及び膜厚
- 追加データ参照 - 塗装インターバル
- 追加データ参照 - 硬化時間
- 必須乾燥膜厚は認定証書に従うこと

# STEELGUARD™ 751

## スチールガード 751

### 推奨素地調整 及び 被塗面温度

- 認可済プライマーは健全で、乾燥し異物等の付着がなく清浄であること

### 被塗面温度及び塗装条件

- 塗装中及び硬化中の被塗面温度は 5°C (41°F) ~ 40°C (104°F)
- 塗装中及び硬化中の被塗面温度は少なくとも露点より 3°C (5°F) 以上高いこと。
- 塗装及び硬化中の環境温度は 5°C (41°F) ~ 40°C (104°F) であること
- 塗装中及び硬化中の相対湿度は 85% 以下

### 使用上の注意

- 均等になるまで徹底的に攪拌し、塊がないようにする。
- 過剰なシンナーの添加は塗料のタルミ性の低下、乾燥の遅延を引き起こす

### エアレススプレー塗装

#### 希釈シンナー

THINNER 21-06 (通常はシンナー不要)

#### 希釈率

0 - 5%

#### ノズル角度

20° - 50°, depending on shape of steel parts

#### チップサイズ

約 0.48 - 0.64 mm (0.019 - 0.025 in)

#### 2次圧

20.0 MPa (約 200 bar; 2901 p.s.i.)

#### 注意点:

- サージボトルおよびガンフィルターを含むすべてのフィルターを取り除く。
- 外部流体摂取パイプフィルターの使用を推奨します。

### 刷毛/ローラー塗装

- 小面積のみ (タッチアップ及び補修)

#### 希釈シンナー

シンナー添加不要

### 洗浄用シンナー

THINNER 21-06



## STEELGUARD™ 751

## スチールガード 751

## 追加データ

塗布量及び膜厚	
DFT	理論塗布量
200 µm (8.0 mils)	[Select correct formula] [Select correct formula]
400 µm (16.0 mils)	[Select correct formula] [Select correct formula]
700 µm (28.0 mils)	[Select correct formula] [Select correct formula]
1000 µm (40.0 mils)	[Select correct formula] [Select correct formula]
1500 µm (60.0 mils)	[Select correct formula] [Select correct formula]

注意点: 刷毛塗り最大膜厚: 300 µm (12.0 mils)

DFT 700 µm (28.0 mils) までの塗装インターバル						
重ね塗り塗料	インターバル	5°C (41°F)	10°C (50°F)	15°C (59°F)	20°C (68°F)	30°C (86°F)
同塗料	最短	12 時間	10 時間	8 時間	6 時間	4 時間
	最長	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限

注意点: すべてのオーバーコーティングは温度と相対湿度を85%未満に制御しながら、1000µm (approx. 700µm DFT) の膨張性湿潤膜厚で測定されています。厚さが厚いほど、硬化に時間がかかります。

DFT 700 µm (28.0 mils) までの塗装インターバル						
重ね塗り塗料	インターバル	5°C (41°F)	10°C (50°F)	15°C (59°F)	20°C (68°F)	30°C (86°F)
STEELGUARD 2458	最短	4 時間	2 時間	1.5 時間	1 時間	45 分
	最長	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限
他の承認済みトップコート	最短	5 日	3 日	60 時間	48 時間	36 時間
	最長	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限

## 注意点:

- システムは乾燥している必要があり、コーティング厚さ計は、次のコーティングを適用する前に表面にくぼみを残さないようにする必要があります。硬化
- トップコートを塗布する前に、アプリケーションは指定された乾燥膜厚が必要です。

# STEELGUARD™ 751

## スチールガード 751

DFT 700 μm (28.0 mils) までの硬化時間	
被塗面温度	指触乾燥
5°C (41°F)	2 時間
10°C (50°F)	1.5 時間
15°C (59°F)	1 時間
20°C (68°F)	30 分
30°C (86°F)	20 分

注意点: すべての硬化時間は、温度と相対湿度が85%未満に制御された状態で、1000μm (approx. 700μm DFT) の膨張性潤滑膜厚で測定されています。厚さが厚いほど、硬化に時価がかかります。

### 安全予防策

- 塗料と推奨シンナーについてはINFORMATION SHEET の1430, 1431 及び製品安全データシート(SDS) を参照。
- 本製品は溶剤型塗料のため、スプレーミストや蒸気の吸引、塗料の皮膚、眼への接触に注意すること。

### 参照

STEELGUARD™ アプリケーションガイドライン	INFORMATION SHEET	1222
STEELGUARD™ 認定プライマー	INFORMATION SHEET	1224
STEELGUARD™ 資格要件を満たしたトップコート	INFORMATION SHEET	1226
換算表	INFORMATION SHEET	1410
プロダクトデータシートの説明	INFORMATION SHEET	1411
安全対応	INFORMATION SHEET	1430
閉鎖環境での安全と健康安全、爆発危険性 - 毒性	INFORMATION SHEET	1431
閉鎖環境での安全作業	INFORMATION SHEET	1433
換気方法	INFORMATION SHEET	1434
鋼板の洗浄と除錆	INFORMATION SHEET	1490
鉱物性研磨材の仕様	INFORMATION SHEET	1491
相対湿度 - 被塗面温度 - 環境温度	INFORMATION SHEET	1650

### 保証

PPGは、(i) 製品の所有権、(ii) 製品の品質が、製造時点において PPGが定める製品仕様準拠していること、ならびに (iii) 製品は第三者のいずれの米国外特許権も侵害していないことを保証します。これはPPGによる唯一の保証であり、商品性、特定用途および目的への適合性、非侵害性、権原、または制定法あるいはそれ以外の法律、もしくは取引の過程、履行の過程、慣習法、または取引慣行により生じる保証をはじめとして、明示または黙示を問わず、あらゆる種類の保証も行わず、または明示的に責任を排除します。本保証に基づくいかなる請求も、購買者が当該欠陥や不具合を発見してから5日以内にPPGに対して書面で行うものとし、また製品に適用される保管期間、あるいは購買者または購買者が指定する配達先に、商品が届けられた日から起算して1年のいずれか早い方が過ぎないことを前提とします。購買者が本規定に適合しないことをPPGに通知しなかった場合、購買者は本保証に基づく担保責任の追及をすることはできません。

### 賠償責任の制限

PPGは、いかなる場合も、製品の使用に関連または起因する、あるいは結果としての間接的、特別的、派生的な (過失、厳格責任、不法行為のいずれを原則とするかに関係なく) 損害回復の理論に基づく一切の責任を負わないものとします。本書の情報はガイダンスのみを目的に作られたものであり、PPGが信頼に値すると考える臨床実験を基にしたものです。PPGは、実地経験および継続的な製品開発の結果として、いつでも本書記載の情報を修正することができます。PPG製品の使用に関連する推奨や示唆は、それらが技術文書内で用いられているかどうか、あるいは特定の問い合わせに対する回答に関わらず、PPGが知り得る限りにおいて信頼できるデータに基づくものとします。製品および関連する情報は、当該産業における必須知識および技能を有するユーザーを対象としており、製品が個々の特定利用に適しているかどうかの判断は、ユーザーの単独責任であり、購買者は独自の裁量権とリスク引受において行うものと見なされます。PPGは、品質の品質または状態、あるいは製品の使用や用途に影響を及ぼしうる数多くの要素については管轄外であり、(契約書に明記されている場合を除き)本情報の使用や内容に起因する損失、被害、損害の責任を一切負わないものとします。適用する環境の変化、使用手順の変更、データの補充に伴い、不十分な結果がもたらされる場合がありますが、本書は先行するあらゆるバージョンに優先し、製品の使用に先立って、本情報が現行のものであるかの確認は購買者の責任とします。すべての PPG Protective & Marine Coatings Products ( PPGプロテクティブ&マリン コーティングス製品 ) の最新データシートは、www.ppgmc.comにて閲覧可能です。また本書の英語版は他の翻訳版に優先するものとします。

The PPG logo, and all other PPG marks are property of the PPG group of companies. All other third-party marks are property of their respective owners.

